

避難訓練実施年間計画

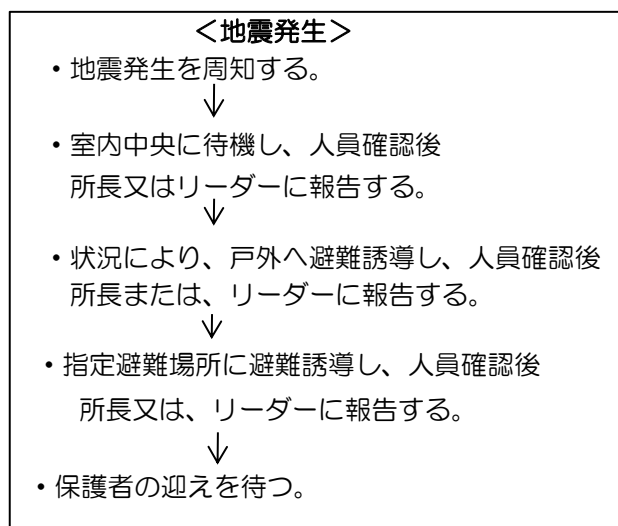
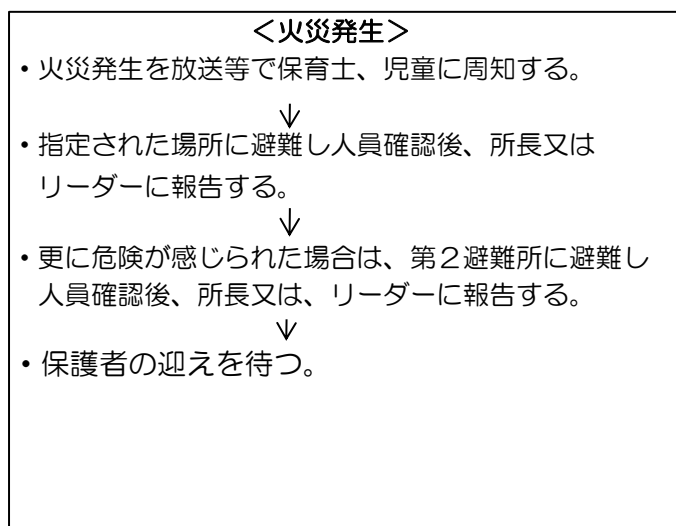
*保育所の実状に応じて、訓練を実施する。また、訓練の際には、危機感を持って訓練できるように職員の連携を図る。

- ①訓練はあらゆる時間帯を想定して行う。
- ②毎月の訓練の担当を決める。（主任保育士が不在の場合も考慮し、所内で対応する。）
- ③避難経路を複数使って避難する。
- ④所長不在時の対応も検討する。
- ⑤訓練後の課題や反省は次の訓練に活かす。

月	想定	目的	指導内容	備考・留意点
4月	想定なし	<ul style="list-style-type: none"> 訓練の目的と方法を知らせる。 合図の非常ベルを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練の必要性を知らせ、避難方法の基本的な心得を理解させる。 火災と、地震の周知方法の違いを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自衛消防組織表を作成し、各職員の分担を確認する。 防災マニュアルを確認する。
5月	保育中火災発生	<ul style="list-style-type: none"> 所内での出火に対する避難方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練の必要性を知らせる。 保育士の指示に従い、落ち着いて安全に避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に知らせておく。 子どもに恐怖心を与えないようにする。 ※散歩、所外保育中にも避難訓練を実施する。
	不審者の侵入	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを危険から守る 不審者を発見した時は敏速に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所における防犯マニュアルを確認し、防犯に対する理解や関心を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の周知
6月	保育中火災発生	<ul style="list-style-type: none"> 全員集合をすみやかにし、指定避難所へ敏速に避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難の方法を正しく身につける。 保育士の指示に従い、機敏に避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難経路使用
7月	保育中軽度の地震発生	<ul style="list-style-type: none"> 地震に対する避難の方法を理解し、行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震の避難方法を理解させる。 保育士の指示に従い、安全な場所に避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> 棚などの落下物、窓の割れに注意する。 ※プールあそび中にも、避難訓練を実施する。
8月	台風接近	<ul style="list-style-type: none"> 台風に対する避難の方法を理解し、行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 台風について知らせる。 台風に対する避難の方法を周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急の場合は、至急家庭に連絡ができるようにする。
9月	午睡中火災発生	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の誘導に従いすみやかに避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> 驚かないよう素早く起こし、保育士の指示に従わせる。 すみやかに誘導し、避難させる。 	<ul style="list-style-type: none"> めざめの悪い子に対して言葉がけをする。 外に出る時、靴の準備をする。
	不審者の侵入	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを危険から守る 不審者を発見した時は敏速に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全敏速に避難し、身の安全を保持する能力を育てる。 児童は保育士の指示に従い、安全に避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難経路の確認 ※戸外から室内へ靴をはいたまま避難する。

月	想 定	目 的	指 導 内 容	備 考 ・ 留 意 点
10月	保育中強度の地震発生 (建物崩壊)	・避難命令をいち早く聞きとり、保育士の指示どおり敏速に行動する。	・前回の避難の経験をもとに、安全なところに、身をかためる。 ・落ち着いて保育士の指示に従う。	・頭部の安全に注意する ・地域の避難所に避難する。 ※所外保育中にも避難訓練をする。
11月	自由遊び中 火災発生	・全員集合をすみやかにし保育士の指示に従い避難する。	・人員点呼を確実にし、指示を聞き避難する。	・残留児を確認し避難する。 ・避難経路使用
12月	保育中 火災発生 (総合訓練)	・消防署の指導を受け、最も適切な方法を知る。 ・機敏な行動を更に高める。	・火災予防についての関心をもたせ、消防署員の働きを知る。 ・暖房器具の周囲での遊び、子どもの火遊びについては、十分に指導する。	・消防署の要請 ・消火器の取り扱いについて ・避難経路使用
1月	保育中 火災発生	・予告なしの訓練にも、落ち着いて指示に従う。	・風向きによって、集合場所が違ってくることを理解し、保育士の指示に従って落ち着いて、機敏に行動する。	・保育士は、風向きに留意する。 ・避難経路使用
	不審者の侵入	・子どもを危険から守る。 ・不審者を発見した時は敏速に対応する。	・安全敏速に避難し、身の安全を保持する能力を育てる。 ・児童は保育士の指示に従い、安全に避難する。	・避難経路の確認 ・いろいろな場面を想定する。
2月	地震と 火災発生	・保育士の指示に従い積極的に行動し、落ち着きの中にも、機敏な行動がとれる。	・訓練の目的と方法を再確認し、マンネリ化せずに、積極的に参加する。 ・合図の非常ベルを理解し、保育士の指示に従って、すみやかに避難する。	・保育士は落ちついて、はっきりとわかりやすく指示を与える。
3月	戸外遊び中 火災発生	・最後までまじめに行動する。 ・予告なし		・外に出る時、靴の準備をする。 ・午睡中の災害発生を想定し、地域の避難所に避難する。

*火災・地震の場合の避難方法について



※水害等地域に対応した避難方法について検証する。